

番号	23	架橋記念碑 小笠原長正書		
所在地	唐津市相知町佐里 和田山橋			
災害別	昭和23年(1948) 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和26年	
特記事項	碑文は一部判読困難			



佐里と相知を結ぶ県道36号線の松浦川にかかる和田山橋の架橋記念碑。昭和23年9月12日の水害で和田山橋は流失。その後新しい橋が架けられた事を記念した碑。なお現在の和田山橋は、平成7年3月に竣工した。

架橋経歴「本橋梁は元三菱相知炭鉱和田山小学校の通学道路として架設昭和八年同炭鉱廃止により当町口道に編入爾来益々主要路線となり全二十年本縣々道に編入全二十一年大改修成りしに二十三年九月十二日未曾有の大洪水のため流出せり本橋梁の難点は地盤軟弱のため従前□□□を又流出し□□に於いても永久施設たる鉄筋コンクリート橋梁として設計成りしも時□も縣下□大災害により容易に着工に至らず地元区民は素より一般交通に大支障を来すため時の□長田代喜一氏の一大奮起となり縣當局を動かし昭和二十四年十二月□て其の例を見ない縣工事の代執行を命ぜられし翌二十五年一月着工せしに流木の埋没並に橋台掘鑿^ま工事に再度の土砂□壊に遭遇し難工を極め全二十六年六月工事竣工落成の式典を挙行せり」(原文はカタカナ表記)

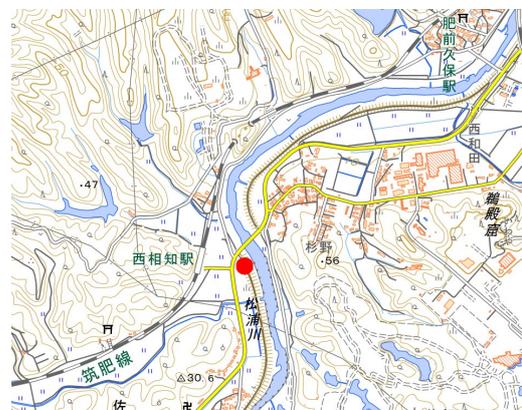


S23.9出水 松浦川中流 和田山橋

昭和 23 年 9 月 流失した和田山橋
(写真：国土交通省 武雄河川事務所)



現在の和田山橋 (平成 7 年 3 月竣工)



国土地理院電子国土 Web